

イベント案内

第37回日本ロボット学会学術講演会 オープンフォーラム

合業 - ロボットと人間が助け合う未来の生産システムを目指して

一般財団法人 製造科学技術センター (MSTC)

Xづくり研究会/メガ労働生産性システム研究会¹

MSTCは下記のとおり、第37回日本ロボット学会学術講演会において、「合業 - ロボットと人間が助け合う未来の生産システムを目指して」と題してオープンフォーラムを開催いたします。これからの日本のものづくりについての斬新な考え方を紹介するものであり、是非、皆さまからの忌憚のないご意見を賜りたいと思っております。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。注:合業=「ごうぎょう」と読む。提案する新たな協働形態。

記

日時、場所

2019年9月3日(火)13:00~15:00 早稲田大学 早稲田キャンパス F室(507)

第37回日本ロボット学会学術講演会オープンフォーラム:<https://ac.rsj-web.org/2019/openforum.html>番号、セッション名

OF15 「合業 - ロボットと人間が助け合う未来の生産システムを目指して」

概要

複雑高精度組立機械のジョブショップ生産においては、現在はマンパワーに全面的に依存している。しかし、やがて現実的には複数ロボットの利用を前提に、そこに人間の介在が不可欠となる。新たなコンセプトのロボットと、さらに進化するAI技術をフルに利用して人間の持つパフォーマンスを最大限に引き出すことができれば、その生産性を飛躍的に伸ばすことも可能である。そこで未来の生産システム「合業」を提案する。

発表者

大隅久(中央大学)、平井成興(NEDO)、宮澤和男(MSTC)、堀江和男(MSTC、事務局)

セッション詳細

【I】イントロダクション

MSTC 紹介、メガ労働生産性システム研究会紹介

【II】複雑高精度組立機械の製造

ジョブショップ生産の現状と課題

【III】新たな生産システムに期待されるコンセプト、考え方 :

はじめに、潮流とビジョン、合業、データ駆動型ロボット、ものづくり用人工知能

【IV】パネルディスカッション

未来の生産システム実現への展望と工程

【V】質疑、参加者との意見交換

【VI】まとめ

問合せ先

MSTC ロボット技術推進室 堀江 メール horie@mstc.or.jp 電話 03-3500-4891

¹ メガ労働生産性システム研究会メンバー 経済産業省、NEDO、産総研、中央大学、筑波大学、電気通信大学、(株)IHI、川崎重工業(株)、清水建設(株)、(株)東芝、(株)日立製作所、三菱電機(株)、MSTC